

「リリース&メルマガ掲載」と「ボタンバナー」の2パターンをご用意しています。

【広告掲載見本:トップページ】



①リリース&メルマガ掲載サービス

- 掲載面: ニュース覧下段
- 掲載期間: 1週間
- 新製品、展示会出展情報など掲載
- 1本当たりのニュース記事の閲覧数は3,000~
- メールマガジンでも同時案内(5回)

②ボタンバナー

- 掲載期間: 1カ月
- ローテーションで5社限定
- 縦70×横268 pixel
- フォーマットGIF形式
- データ容量: 50kバイト未満
- アニメーションGIF使用可能

【広告掲載見本:リリース掲載】

【PR】アナタならどのロボットに救助されたい？ 8月7日と8日に第10回レスコン本選記念大会開催

ロボット×レスキュー2010実行委員会(レスキューロボットコンテスト実行委員会など)は、来る8月7日(土)と8日(日)に「サウザン・オートメーション杯 第10回レスキューロボットコンテスト(レスコン) 競技会本選」を開催します。7月4日の予選を通過した精鋭12チームがレスキュー活動を競い、優勝したチームにはレスキュー工学大賞が授与されます。会場は、神戸市の神戸サンポートホールで、入場料は無料です。

レスキューロボットコンテスト(レスコン)は、災害救助を題材としたロボットコンテスト。「国際レスキュー工学研究所」におけるレスキュー技術の評価と訓練を目的とした実験といえます。定められた設計・製作した遠隔操縦型ロボットなどにより、1/6スケールの被災した街の模型の中から要救助者を模したダミー人形を救出し、連れ帰ります。被災地へ出動する「つよさ」と活動の「はやさ」、要救助者を扱う「やさしさ」を競います。参加チームにはアイデアや技術力に加え、チームワークが求められます。

競技は、おもに「プレゼン」「作戦会議」「出動」「瓦礫除」「救出」「搬送」の流れで進められ、7日のファーストセッションでは8日のフィナルセッションに進出する4チームを選び、8日の午前にはセカンドセッションを実施して、フィナルセッションに進出する2チームを、さらに選出します。本選出場チームは、以下を参照して下さい。

■「第10回レスキューロボットコンテスト」本選参加チーム

- アンプス(広島大学 教育学部)
- MS-R(金沢工業大学 夢考房)
- がんばろうKOBE(神戸市立高専)
- 救命ゴリウ！S(大阪電気通信大学 自由工房)
- 救命ゴリウ！B(大阪電気通信大学 自由工房)
- OK, U. R. C.(京都大学 機械研究会)
- SHIRASAGI(兵庫県立大学 ロボット研究会)
- 木助隊(産業技術短期大学)
- 長瀬ボーガーズ(愛知工業大学)
- 都工機械電気(大阪市立都島工業高校 機械電気科)
- メビィ！(岡山県立大学 ロボット研究サークル)
- ROBO+(同志社大学 ROBO+)

■お問い合わせ先
レスキューロボットコンテスト実行委員会
〒575-0063
大阪府四條畷市清滝1130-70
大阪電気通信大学 総合情報学部
メディアコンピュータシステム学科 丹谷保博まで
TEL & FAX: 072-976-5107
e-mail: humanoid-rescon@googlegroups.comまで
URL: http://jyukubo-oecu.jp/modules/p_seminar/index.php?content_id=61

①リリース&メルマガ掲載サービス (リリース掲載)

- 紹介内容: 新製品およびサービス、セミナー開催情報、展示会出展情報
- (1)タイトル(キャッチ): 50字以内
- (2)紹介文: 500~2,000字
- (3)商品画像: 2点以内
- (4)連絡先 を掲載

※ただし、メルマガと同じ内容
※掲載時はニュース記事と差別化するため【PR記事】と明記します

【広告掲載見本：メールマガジン】

ロボナブルNEWS「Weekly版」 2010年 9月 6日号 No.012
発行元：日刊工業新聞社 ロボナブル編集部
<http://www.robosable.jp/>

本メールは、ロボット関連の情報、ロボットビジネスの立案に役立つ情報などを送信させていただきます。小社主催の展示会にご来場いただいた方や、新報にご登録いただいた方に送信しています。配信先の変更、配信停止などのお問い合わせは、末尾をご参照下さい。

【お知らせ】
●「ロボット大賞の実施スケジュール予定が決定」
「第4回 ロボット大賞」の応募受付が8月から開始されます。9月30日に応募を締め切り、10月上旬の一次審査、11月中旬の二次審査を経て11月26日に表彰式が開催される予定です。応募対象および資格、審査基準などの詳細は近々、経済産業省より正式発表されますので、応募に向けた準備をお勧めします。
<http://www.robotaward.jp/>

●特別セミナー「機械安全ワークショップ ー安全設計の実践・適用実務ー」
機械設計者および機械使用者の実務担当者を対象に、リスクベースド・アプローチの概念と方法論を紹介し、リスクベースの機械安全の体系、機械使用者からみた電気安全実践の活用、制御安全ISO 13849-1の内容とPLに求め方を、シミュレーションの精製制御解読を解説します。
http://robosable.typepad.jp/event_news/2010/08/02schmersal.html#tp

【先週のニュース一覧】

- 07.26 [記者ルポ] 研究開発への投資、2年ぶり増加 日刊工業新聞アンケートより
- 07.26 [コラム] ロボ活用用のエンタメ産業、技術があるのに興えないわけ
- 07.27 経産省、組込みソフトの共通化支援へ、競争力の向上に向け
- 07.27 ライオン事務器、アルコール検知器と連動した重要物保管・管理ボックス発売
- 07.27 RTコンポーネントの再利用性向上に向け標準的インターフェース用意へ、OMGで承認

①リリース&メルマガ掲載サービス (メルマガ掲載)

■ 紹介内容：新製品およびサービス、セミナー開催情報、展示会出展情報

■ 配信回数：

Weekly版(毎週月曜配信)が4回

Monthly版(毎月15日配信)が1回の計5回

■ (1)タイトル(キャッチ)：35字以内

(2)紹介文：100字以内

(3)リンク先URL を掲載

※ただしリリースと同じ内容

【広告料金】

※消費税は別途

	掲載期間	ローテーション	ファイル容量	原稿サイズ	広告料金
ボタンバナー	1カ月間	5社	50kb以内	縦70×横268 pixel	100,000円
リリース&メルマガ掲載	1週間&1カ月 (5回)配信	2社	— (入稿規定参照)	— (入稿規定参照)	100,000円

【入稿規定】

①バナー広告(ボタンバナー)

※広告原稿は完全原稿をデータでご入稿ください。原稿は掲載日の3日前に入稿ください。

②リリース&メルマガサービス

《リリース》

※(1)タイトル、(2)紹介文、(3)商品画像、(4)連絡先の4点を入稿して下さい。

※文字数は、(1)タイトルが企業名込みで50字以内、(2)紹介文が500～2,000字、(3)画像ファイルは2点まで。

※(4)連絡先は、「所属名」「住所」「部署名および担当者名」「TEL & FAX」「e-mailアドレス」「URL」をお知らせください。

※完全原稿を掲載日の3日前にデータご入稿ください。ファイル形式は、Windows上で認識できるファイルフォーマットでお願いします。

《メールマガジン》

※(1)タイトル(キャッチコピー)、(2)紹介文、(3)リンク先URLの3点を入稿してください。

※文字数は、(1)タイトルが35字以内、(2)紹介文が100字以内です。

※完全原稿を掲載日の3日前に入稿ください。

【メディアデータ】

●月間ページビュー 200,000ページビュー(2010年10月現在)

●メールマガジン Weekly版とMonthly版を発行(月平均5回配信) ロボット業界関係者を中心に約3,000部配信

【お問い合わせ先】

●日刊工業新聞社 大阪支社 大阪市中央区北浜東2-16

TEL 06-6946-3353 FAX 03-6946-3633 E-mail: robosable@media.nikkan.co.jp

ロボナブル編集部

●日刊工業新聞社 本社 東京都中央区日本橋小網町14-1

TEL 03-5644-7090 FAX 03-5644-7098

電子メディア事業室